

ふ い ー る ど

発行所



一般財団法人

大阪市青少年活動協会

あいす・おおさか

〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35
大阪市教育会館内

TEL 06-6942-0410 FAX 06-6949-3182

<https://ays-osaka.jp>

編集発行人 三保 洋士

◆運営5年目に思う◆

～吹田市立自然の家の魅力～

◆吹田市立自然の家の概要

吹田市の子どもたちが豊かな自然とふれあうことのできる場として、1990年5月5日『こどもの日』に滋賀県北西部の旧今津町（現在の高島市）に「吹田市立少年自然の家」（愛称：もくもくの里）が開設されました。それから40年後の2020年4月に、施設名称を「吹田市立自然の家」と改め、幼児から高齢者までのあらゆる方々が、環境学習や自然体験学習ができる生涯施設となりました。また、同年より協会が指定管理者として自然の家の管理運営を始めました。



◆四季折々の自然

もくもくの里は、小高い山々に囲まれ、近くにはびわ湖へと注ぐ石田川が流れており、山の合間からは箱館山を望むことができる自然豊かな環境に位置しています。

【春】（3～5月）

雪が解け、暖かな日差しを感じ始めると、土の中からフキノトウが顔を出します。山の木々が新緑に彩られ、ところどころに淡いピンクの花を咲かせたヤマザクラを見ることができます。5月下旬になれば、モリアオガエルの産卵が始まります。その姿に、生命の神秘を身近に感じることができます。



【夏】（6～8月）

6月に入り、夜の散策に出かけるとゲンジボタルを見つけることができます。身体の一部を黄緑色に発光させ、ゆっくりと飛び交う姿は幻想的です。7月には、石田川の清流で川遊びが楽しめます。流れる水

は冷たく、一歩足を踏み入れれば身体の芯まで涼をとることができます。水中を覗けば、アユやカジカガエルを見ることができます。夕暮れ時になると「カナカナカナ…」というヒグラシの鳴き声があたり一



帯を包み込みます。街中ではほとんど聴くことがなくなった貴重な音色です。また、山々に囲まれており、街明かりが入らない環境にあるので、夜になると満天

の星空を眺めることができます。夏の大三角「はくちょう座のデネブ」「わし座のアルタイル」「こと座のベガ」や北斗七星などを見つけることができます。

【秋】（9～11月）

夏の暑さが少しずつ和らいでくると、コオロギやキリギリスといった虫の音が鳴り響くようになります。秋がさらに深まると、木々の葉が赤や黄色に色づき衣替えをします。

【冬】（12～2月）

最近では温暖化の影響により、雪が降り続く日は減りましたが、それでも積雪が1mほどになることもあり、一面の銀世界の中で雪だるまや雪合戦、そり遊びなどを楽しむことができます。スノーシューで雪原をトレッキングすれば、キツネやシカの足跡を見つけることができます。また、近くには「ザゼンソウ群生地」があり、2月下旬頃に花を咲かせ、春の訪れを告げてくれます。

こうして季節は繰り返され、もくもくの里では四季折々の自然を感じることができます。



◆近年の施設改修・整備の取り組み

施設の改修・整備にあたっては、もくもくの里を訪れる方が安全で快適に利用していただけるよう、常に利用される方の目線に立って取り組むことを心掛けています。日々の業務として目視による設備機器の点検・確認を行い、軽微な修繕であれば速やかに職員で対応し、規模が大きい場合は、専門業者による改修を行っています。

【主な取り組み】

- * 暖房空調のみであった宿泊棟全室に冷暖房エアコンを設置しました。これにより、年間を通して快適に過ごしていただけるようになりました。
- * 新たにランドリーコーナーを整備し、洗濯機・乾燥機を2台ずつ設置しました。連泊利用される団体やご家族の方に大変喜ばれています。



- * 野外食堂のテーブルとイスを更新しました。職員の手作りによるもので、利用者の方々に喜ばれています。



- * 敷地内の樹木の状態を調査し、倒木の危険性がある樹木については、専門業者による伐木作業を実施しました。
- * その他、計画的に施設内の照明器具のLED化を進めています。

もくもくの里が開設されて40年以上が経過し、各所設備が老朽化しつつあることから、今後も吹田市と協議を重ねながら、利用者にとって安全で快適な施設の維持管理に努めていきます。

◆利用状況の変化

令和2年4月、協会が指定管理者として自然の家の管理運営を開始するとほぼ同時に、新型コロナウイルスの感染が全国的に広まりました。緊急事態宣言の発表等により、臨時休所や宿泊活動の自粛を余儀なくされ、当年の年間目標としていた20,000人に対し、利用者数は4,510人(22.5%)に留まりました。

令和3年度もコロナ禍の影響は大きく、前年と比較して回復の兆しが少し見えてきたものの、利用者数は10,394人となりました。

令和4年度に入ると規制も緩和され、ようやくコロナ禍前の賑わいが戻ってきました。平日は、吹田市立小学校をはじめとして、摂津市や寝屋川市などの



小学校の林間学校利用が大半を占めています。林間学校では、クラスみんなで協力して取り組む「クラスビルディング」や生きた魚をつかんで調理して食べる「魚つかみ」などのプログラム提供を通じて、児童の体験活動を支援しています。

令和5年度は、前年度の実績を維持しつつ、スポーツ団体の利用が回復しつつあります。また、週末は、主催事業を中心にご家族の利用や子ども会、学童保育などの利用も徐



々に回復し、アーチェリーやカヌーなどのプログラムを楽しむ姿が見られました。さらに、プログラム指導を含め丁寧な対応を心掛けたことで、学校の先生方から高い評価をいただき、口コミなどによって小学校の利用が増えました。こうした取り組みにより、年間の利用者数が19,951人まで回復しました。

令和6年度も多くの方にご利用いただけるよう、利用者目線に立った丁寧な対応を心掛け、日々の管理運営に取り組んでいます。

◆お問合せ

**吹田市立自然の家
(もくもくの里)**

滋賀県高島市今津町南生見

TEL:0740-24-0131

FAX:0740-24-0431

■ 事業レポート ■

◎ はじめてのマリンキャンプin京都宮津

7月20日（土）～21日（日）の1泊2日で、「はじめてのマリンキャンプin京都宮津」を行いました。「海で遊ぼう！」をテーマに、初めて海水浴にチャレンジする子どもたちを中心に、海水浴やキャンプファイア、ビーチクラフトなどの活動を楽しむキャンプです。宿舎となる京都府立青少年海洋センターは、大阪からバス



で約2時間半、日本三景のひとつ天橋立の近くに位置しており、施設のすぐ前が浜辺で、海遊びにぴったりのロケーションです。

初日、大阪から現地へ向かう道中は、雨が降っており、子どもたちは海で泳ぐことができるか不安な様子でしたが、センターに到着する頃には、雨も上がり、曇り空となったため、暑さも和らぎ



ました。昼食後は、早速、水着に着替えて、ライフジャケットを着用し、安全のためのパディシステムを確認した上で、グループで海遊びを楽しみました。「初めて海に入った」という子どもも多く、最初は少しためらいが見られましたが、思い切って入ってみると「冷たくて気持ちいい」や「うわあー、しょっぱい!」、「魚が泳いでいるよー」などの声が聞かれました。休憩を挟みながら、約1時間半、おだやかな京都宮津での海水浴を思いっきり楽しむことができました。



翌日は、打って変わって晴天となり、「真夏!」という気温になりました。朝から海岸を散策し、貝殻やシーグラス探しを行いました。見つけた貝殻など使って、キャンプの思い出を詰め込んだフォトフレームを作りました。グループのメンバーのキャンプネームやサインを書いたり、海の様子やキャンプファイアの絵を描いたり子どもたちの思い出が閉じ込められた個性的な作品ができあがっていました。

1泊2日の中で、海遊びやキャンプファイア、クラフトなど夏の思い出をたくさん作ることができたキャンプになりました。

コラム 野遊びのすすめ シロツメクサの花かんざし

先日、兵庫県立尼崎の森中央緑地を歩きました。この公園は100年かけて、一人ひとりの参画により、「地域が育てる森」とすることを基本理念とし、世界でも類を見ない新しい実験的な公園づくりが進められています。臨海地にどんな森が生まれるのが楽しみです。

その公園の広場一面がシロツメクサに覆われており、その光景を見てなんとも懐かしい思い出がパァーと甦ってきました。

牧野新日本植物図鑑によると、「・・・むかしオランダ人がガラス器具を箱に入れ、その隙間に本種の枯れ草を詰めて、長崎港に運んできた。その時、枯れ草についていた種子を好事家が播いて、はじめて本種が日本にひろまった」とのこと。子どもたちの心に「ホッとした温かい」思い出を作ってくれた植物の一つではないでしょうか。

（草木遊び塾 主宰 松井鴻）



図1



図2

素敵・快適・観光バスの旅



近鉄バス株式会社
営業部観光営業課

〒577-0055

東大阪市長栄寺19-17

TEL 06-6781-0711(代) FAX 06-6781-8088

ホームページ <https://www.kintetsu-bus.co.jp>

検索

近鉄バス

公式SNSも更新中!



当社では観光、教育、視察、イベントなど、様々なご要望にお応えし、安全を最優先にしながら、お客様のご旅行が素敵なものとなるようにサポートさせていただきます。観光バスのお見積り、ご用命は下記の電話番号へお問い合わせください。

また、当社ではバス乗務員を随時募集しております。充実の研修制度でバックアップ! あなたの“夢”近鉄バスで叶えてみませんか?

あいす・おおさか ディーズ!ブランチ

■2024年10月～11月の小学生対象キャンプ予定

事業名	日程	場所	対象	交通機関	参加費	集合解散
たんけんキャンプ	10月12日(土)～14日(月・祝) 2泊3日	大阪府和泉市 大阪市立信太山青少年野外活動センター	小学1年～ 6年生	JR利用	24,000円	大阪駅 天王寺駅
オータムキャンプ	11月2日(土)～4日(月・祝) 2泊3日	大阪府和泉市 大阪市立信太山青少年野外活動センター	小学1年～ 6年生	JR利用	24,000円	大阪駅 天王寺駅

■2024年10月のファミリーキャンプ予定

事業名	日程	場所	対象	交通機関	参加費	集合解散
もくもくの里ファミリーキャンプ	10月12日(土)～13日(日) 1泊2日	滋賀県高島市 吹田市立自然の家	家族・ グループ	自家用車	18歳以上:15,000円 18歳未満:12,500円	現地 集合解散

申込状況や詳しい内容については電話にてお問い合わせください。

TOPICS トピックス

新人スタッフを迎え、夏季活動がスタート!

今年度はキャンプスタッフ59名、アウトドアクラブスタッフ11名が新たに加わり、全体で138名のボランティアスタッフが研修と活動に取り組んでいます。

新人募集にあたり、先輩スタッフたちは3月の年間ふりかえり研修で、子どもたちと関わるボランティア活動を行う意義や、協会でのボランティア活動を通して成長できる点について議論することで、自分たちの実体験を整理し、この活動の良さを再確認するよい機会となったようです。

先輩スタッフたちの熱意ある勧誘活動の結果、関西一円の様々な大学から70名の新人スタッフが登録し、協会やキャンプの理解、子どもたちを取り巻く現状をはじめとする青少年の理解、アレルギーや障がいなど配慮の必要な事柄についての座学を中心とした研修や、野外炊事やレクリエーション、キャンプファイア、グループワーク、心肺蘇生法などの体験の実習に参加しました。

この夏は、アウトドアクラブやキャンプ事業で先輩スタッフとともに、子どもたちのリーダーとして、また野外活動施設を訪れる利用者の支援スタッフとして、充実した夏季活動を展開しています。



TOPICS トピックス

大阪市教育会館の新館建設工事が順調に進んでいます

令和7年1月の竣工に向けて新館の建設工事が順調に進んでいます。8月には鉄骨・躯体工事がほぼ終了し、これから内外装工事に入ります。新館5階に入居する事務局は、現在と同程度の広さ(約130m²)ですが、いつでもボランティアスタッフのミーティングやキャンプの打合せなどができるよう事務所に20名程度が収容できる会議室を整備します。



◆多目的広場でサッカーや野球スポーツ合宿のできる施設

大阪市立信太山青少年野外活動センター

大阪府和泉市伯太町 TEL 0725-41-2921
<https://shinodayama.com/>

◆山や川、湖など一年中自然を満喫できる施設

吹田市立自然の家(もくもくの里)

滋賀県高島市今津町南生見 TEL 0740-24-0131
<https://mokumoku-suita.jp/>

◆野外活動や環境学習、生涯学習活動に適した施設

吹田市自然体験交流センター(わくわくの郷)

大阪府吹田市藤白台 TEL 06-6872-0713
<https://wakuwaku-suita.com/>

◆学び、活動し、交流できる施設

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館(ゆいぴあ)

青少年活動サポートプラザ 大阪府吹田市山田西
TEL 06-6816-8552 <http://support-suita.jp/>

◆学校オリエンテーションキャンプや合宿に適した施設

京都府立り湊少年自然の家(グリーンパルり湊)

京都府南丹市園部町 TEL 0771-65-0190
<https://kyoto-rurikei.jp/>

◆青少年活動・野外活動についての相談は

大阪市青少年活動協会サービスステーション

大阪市青少年活動協会 事務局 TEL 06-6942-0410